

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察注意報第5号

果樹共通 カメムシ類

1 発生地域（対象地域） 県下全域

2 発生程度 多

3 注意報発令の根拠

- (1) チャバネアオカメムシ成虫の越冬量は、過去10か年では、平成8年に次いで多く、ほぼ平成14年並であった。
- (2) フェロモントラップでの誘殺量は、5月1半旬以降に増加している（図）。
- (3) 病害虫防除員の報告によると、長与町、西海市西彼町、西海市西海町、諫早市、大村市、佐世保市、雲仙市瑞穂町、南島原市有家町のかんきつ園となし園で飛来が多く、果樹園への飛来は、県下全域に及んでいると考えられる。
- (4) 5月上旬の巡回調査では、かんきつ園、なし園、びわ園において平年より多い園場で寄生を認めた。

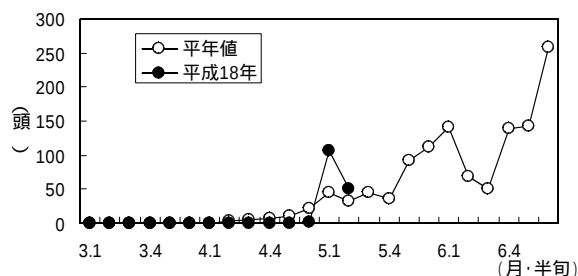


図 チャバネ・ツアアオカメムシの誘殺状況(諫早:黄色カネコール)
平年値は平成11～17年の平均

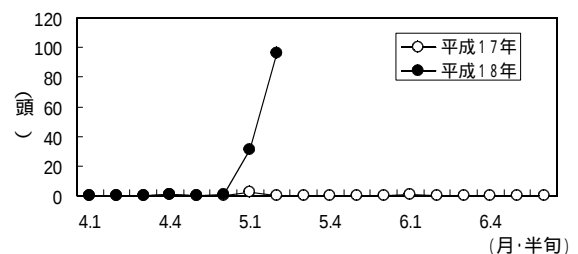


図 チャバネ・ツアアオカメムシの誘殺状況(多良見:黄色カネコール)

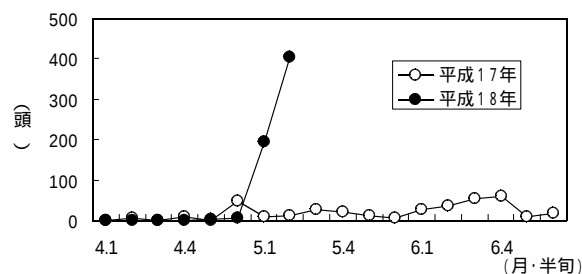


図 チャバネ・ツアアオカメムシの誘殺状況(有家:黄色カネコール)

4 防除対策

- (1) 今後、8月上旬頃までは果樹園への飛来が多いと予測されるので、この期間は特に発生に注意する。

- (2) 飛来時期や飛来量は園によって差があるので、園をなるべくこまめに見回り、早期発見、早期防除に努める。
- (3) 他の害虫の防除を実施する際にカメムシ類に効果がある薬剤を選択する。
- (4) カメムシ類は夜間に果樹園での密度が高まるので防除は夕方または早朝に行う。
- (5) ハウス栽培では、開口部を防虫網（4 mm目以下）で被覆する。また既に被覆済のハウスでも防虫網の破損がないか点検し、カメムシ類の侵入を防ぐようにする。
- (6) なしでは袋かけ作業が遅れないように注意する。
- (7) 今後の発生状況は予察情報や病虫害防除所ホームページ（下記参照）に掲載する予定であるので防除の参考にする。